

いざ、杉戸の歴史を再発見！

受け継がれし郷土の宝に出会う…



杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第39回

杉戸宿新町吉野屋の口演

杉戸宿新町（現在の埼玉りそな銀行付近）には、かつて呉服商を営む吉野屋がありました。吉野屋呉服店がいつごろからあったのかは、詳らかではありませんが、江戸時代の後期以降にはあったようです。

その吉野屋が新装開店した際、宣伝方法の一つとして刷り物を配ったようです。今風にいえばチラシに近いのかもしれませんが、興味深いことの一つがその内容です。

それは「口演」という表題にも表されるとおり、つぎのような講談調になっているとります。

口演

一 各々様益々御機嫌克被遊恐悦至極ニ奉存候、随而私店の儀年来呉服渡世仕来候処、御鼠肩之御蔭ヲ以日増繁昌仕候段、千万難有仕合ニ奉存候、

一 今般見世之儀普請出来致候間、当霜月朔日より五日之間見世開仕候、依之諸品相改仕入方情々吟味仕、御目二当り候様格別下直ニ奉差上候間、当日より御賑々敷御入来被成下多少ニ

要約すれば、「御得意様の皆様のおかげで店が繁昌しており、ありがとうございます。今度お店を新装開店いたしましたので、十一月一日から五日間、記念大売出しを開催いたします。よい品を取り揃え、特別価格にて販売いたしますので、みなさんお誘いあわの上、ご来店ください。」といったところでしょうか。今も昔も宣伝文句には、さほどの違いはみられません。

余談ですが、こうした刷り物がつくられることと自体、当時の識字率が決して低くなかったことを示しているといえるのではないのでしょうか。



▲吉野屋口演

（社会教育課 町史・文化財担当編）



信長の忍び × 杉戸町 日光街道杉戸宿魅力再発見！

コラボ切手シート販売中！

人気アニメ「信長の忍び」が杉戸町とコラボ！オリジナルフレーム切手シートを7月25日(火)より販売開始しました。杉戸町の風物詩「古利根川流灯まつり」に「信長の忍び」が遊びに来たデザインとなっています。流灯まつりや懐かしの杉戸町の写真などがプリントされ、日光街道杉戸宿の魅力が詰まった記念切手シート、是非お買い求めください！

販売場所 杉戸町観光協会(杉戸町商工会内)
杉戸町杉戸1-10-21
※町観光協会主催イベントでも限定販売します。

販売価格 1,500円【1シート82円切手×10枚】
※数量限定ですでお早めに…。



◀シート見本

問合せ 杉戸町観光協会 ☎ (32) 3719